

部 会 名	平成30年度秋田県平鹿地域保健医療福祉協議会 「救急・災害医療検討部会」											
開催日時・場所	日時：平成31年2月5日（火）午後6時から午後7時30分 場所：平鹿地域振興局福祉環境部2階 研修室											
部会委員名	曾根純之（横手市医師会）、江畑公仁男（横手病院）、福岡岳美（大森病院） 深堀耕平（平鹿総合病院）、佐々木徹（横手市歯科医師会） 小松田徹（薬剤師会横手支部）、遠藤まゆみ（看護協会横手地区支部） 黒崎俊一（医薬品卸業協会）、齋藤美和子（健康推進課） (委員数14名、出席者9名、欠席者5名) ※代理出席：菅谷和明（横手市消防本部）、山初正（横手警察署）											
部会役員	部会長及び副部会長 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>氏 名</th> <th>所属機関・団体及び役職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部 会 長</td> <td>曾根 純之</td> <td>横手市医師会副会長</td> </tr> <tr> <td>副部会長</td> <td>深堀 耕平</td> <td>平鹿総合病院循環器科長</td> </tr> </tbody> </table>				氏 名	所属機関・団体及び役職名	部 会 長	曾根 純之	横手市医師会副会長	副部会長	深堀 耕平	平鹿総合病院循環器科長
	氏 名	所属機関・団体及び役職名										
部 会 長	曾根 純之	横手市医師会副会長										
副部会長	深堀 耕平	平鹿総合病院循環器科長										
議事・協議内容	<p>【議題1】秋田県保健医療福祉計画（「救急医療」、「災害医療」） (概要) ・平成30年3月に施行された計画の中から、救急医療及び災害医療の事項について説明。 (意見) ・DMAT(災害派遣医療チーム)については、すぐに出動することはできない。東日本大震災以降、出動はしていない。(平鹿総合病院) ・DPAT(災害派遣精神医療チーム)については、先の北海道での災害で派遣されているようだが、新しく設置されたばかりなので、金銭面での支援がない状態で医療機関からの持ち出しで活動したと聞いている。(医師会)</p> <p>【議題2】秋田県平鹿地域振興局福祉環境部災害対策標準マニュアル (概要) ・災害が発生した時における初動マニュアルの素案について説明。 ・今後、横手市や関係機関のマニュアル等の摺り合わせを実施する。 (意見) ・以前から地域医療対策本部の設置場所について提案してきたが、管轄は一市であることから、情報は全て市に集まり、また関係機関の参集しやすさを考慮にいと本部は保健所ではなく、消防本部（条里）に設置するのがいいのではないかと。(医師会) ・管轄が一市であることから、地域医療対策本部は、保健所と市を横並びにした体制を構築するのが現実的ではないかと。(医師会) ・災害時の備蓄医薬品の供給体制について記載されているが、是非、口腔ケア用品についても備蓄・供給してほしい。(横手市歯科医師会)</p> <p>【議題3】管内における熱中症の状況について(裏面参照) (概要) ・救急告示病院（3病院）及び横手市消防本部に対して実施した調査結果について報告。 ・調査の結果、管内の熱中症は、患者の多くは高齢者で、住居で発生している状況が多かった。 (意見) ・過去3年間で熱中症による死亡は平成28年の1名だけであるが、実際は熱中症が起因した疾患で死亡している事例はもっとある。(平鹿総合病院)</p> <p>【議題4】小児救急保護者講習会の実施状況について (概要) ・実施回数：3回（横手幼稚園、吉田保育所、金沢保育園） ・講師：伊藤小児科・内科医院 院長 伊藤忠彦 先生</p>											

管内における熱中症の状況について（参考資料）

- 1 対象：横手消防本部、救急告示病院（平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院）
- 2 対象期間：平成30年5月～平成30年9月
- 3 調査方法：アンケートの実施
- 4 調査結果概要

（1）横手市消防本部

① 熱中症による救急患者搬送数

	平成28年		平成29年		平成30年	
	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
5月	3	0	1	0	3	0
6月	6	0	1	0	6	0
7月	13	0	28	0	31	0
8月	35	1	15	0	24	0
9月	8	0	1	0	1	0
搬送人員数	65	1	46	0	65	0

② 年齢区分別の救急搬送人員数

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
平成28年	0	0	8	20	37	65
平成29年	0	0	4	14	28	46
平成30年	0	0	5	22	38	65

③ 傷病程度別の救急搬送人員数

	①死亡	②重症	③中等症	④軽症	⑤その他	合計
平成28年	1	3	24	37	0	65
平成29年	0	2	17	27	0	46
平成30年	0	2	24	39	0	65

③ 発生場所ごとの項目別の救急搬送人員数

	①住居	②道路工事現場、工場、作業所等	③田畑、森林、海、川等	④教育機関	⑤公衆（屋内）	⑥公衆（屋外）	⑦道路	⑧その他	合計
平成28年	29	4	0	2	8	11	8	3	65
平成29年	22	2	0	1	4	8	6	3	46
平成30年	39	5	1	4	3	3	6	4	65

（2）救急告示病院（3病院）

① 総数（平成30年）

	患者数			入院患者数
	男	女	計	
5月	4	0	4	0
6月	6	2	8	3
7月	27	22	49	10
8月	26	12	38	10
9月	3	0	3	1
計	66	36	102	24

② 受診した患者の年齢区分別

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
平成30年	0	0	27	34	41	102

③ 初診時における傷病程度別の患者数

	I度（軽症）	II度（中等症）	III度（重症）
平成30年	30	48	24